

はばたきまつり

11月18日・19日の2日間で約150の方にご来場いただきました。

「地域のまつりが中止になって、淋しい思いをしていました。」

子どもたちを連れて来て楽しませてもらいました。」

「どの作品も心のこもった作品ですね。」など、
たくさんのお言葉をいただき、盛況のうちに
「はばたきまつり」を終えることができました。

ありがとうございました。

チャリティバザーの収益金の一部10,100円を
倉吉市社会福祉協議会に寄附させていただきました。
ご協力ありがとうございました。



お急ぎください!! マイナンバーカードの申請

20,000ポイント(マイナポイント)は **12月27日まで** です。

《申請に必要なもの》

1. QRコード付き交付申請書

2. A(顔写真付き証明書)

・運転免許証・運転経歴証明書
(平成24年以降に交付されたもの)

・パスポート・住民基本カード
・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳
・療育手帳・在留カード・特別永住者証

3. B(顔写真無し証明書)

・保険証・預金通・医療受給者証
・母子手帳(市長印の押印のあるもの)
・年金手帳(年金番号通知書)・介護保険証など

A1点+B1点または**B2点**+個人番号カード

AまたはBをお持ちでない方でも申請できます!(受け取りは市役所)

問合せ先: はばたき人権文化センター 電話 0858-22-0232

倉吉市役所市民課マイナンバー担当 電話 0858-27-0007

(午前8時30分から午後5時15分)

※マイナポイントの申し込みも聞いてください。

開催日	開催場所	時間
12月5日(月)	上小鴨コミュニティセンター	10:00~16:00
12月6日(火)	上灘コミュニティセンター	10:00~16:00
12月9日(金)	社コミュニティセンター	10:00~16:00
12月10日(土)	市役所第2庁舎	9:00~12:00
12月12日(月)	明倫コミュニティセンター	10:00~16:00
12月13日(火)	上北桑コミュニティセンター	10:00~16:00
12月14日(水)	成徳コミュニティセンター	10:00~16:00
12月15日(木)	北谷コミュニティセンター	10:00~16:00
12月16日(金)	小鴨コミュニティセンター	10:00~16:00
12月17日(土)	市役所第2庁舎	9:00~12:00
12月19日(月)	瀬手コミュニティセンター	10:00~16:00
12月20日(火)	高城コミュニティセンター	10:00~16:00
12月21日(水)	関金コミュニティセンター	10:00~16:00
12月22日(木)	西郷コミュニティセンター	10:00~16:00
12月23日(金)	上井コミュニティセンター	10:00~16:00
12月24日(土)	市役所第2庁舎	9:00~12:00
12月29日(木)	市役所第2庁舎	9:00~12:00

生活で困っていることはありませんか?

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ
悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は
秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇
した場合は、倉吉市人権政策課、又
は、最寄りの人権文化センターまで
ご相談ください。

倉吉市生活産業部人権政策課 Tel0858-22-8130

はばたき人権文化センター Tel0858-22-0232

はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行:はばたき人権文化センター
住所:〒682-0872
倉吉市福吉町2丁目1514-7
電話:0858-22-0232(FAX兼)



12月号 NO.420 (2022年12月1日発行)

「人権週間」4日~10日 世界人権デー10日

3日 国際障害デー 3日~9日 障害者週間

10日~16日 北朝鮮人権侵害問題啓発週間

Stop 地球温暖化! 子どもたちの未来のために!



地球温暖化 日本への影響

地球温暖化が進むことによって、日本の年間平均気温は約4.5度上昇するという予測がされ、猛暑日の年間日数は約19.1日、熱帯夜は約40.6日増加し、海面水温は約3.58度、海面水位は約71cm上昇するといわれています。

年々上昇する地球の温度と、それに伴い激しさを増す自然災害、北極の氷などの氷が解けることによる海面上昇、熱波による森林破壊など数々の現象によって地球と地球上に住む様々な生き物の生存が危うくなっています。温暖化を阻止できなければ、2100年には、世界の島しょ国の大部分が海に水没するという予測も出ています。

《今すぐ私たちにできること》

- 省エネ対策 : ・待機電力を減らす。・電気製品は省エネラベルに注目。・照明をLEDに替える。
・地産地消、旬産旬消、地元で露地栽培される商品を利用する。
・マイバッグを持つ、量り売りのお店を利用するなど。
- 創エネ対策 : ・太陽光発電や太陽熱温水器の導入(災害時の停電対策にもなる)。
・再生可能エネルギーの導入。
- 家でも外でも食べ残しをしない工夫をする。(食料の約3割が食べられずに破棄されて、そこへもエネルギーを使っています。)

私たちは、今までの生活スタイルを見直して、省エネ生活に転換する必要があるところに立っています。人が安定、安心して暮らしていくために、一人ひとりの小さな努力を積み重ねていきましょう。

「ちりも積もれば、山となる」です。驚くほど大きな結果になってあらわれることでしょう。みんなで生活の工夫を実践したり、新しい技術を調べたり、できることから少しずつ始めましょう。今すぐ始めなければ、子どもたちの未来はないと思います。



I Love The Earth

《 11月 こんなことしました 》

●にこにこサロン： 4日(金)

はばたきまつりに出展する作品をみんなで協力し、完成させました。



「まつりで皆さんに見てもらえて嬉しかったです。」

●こども料理教室： 5日(土)

幼い子どもたちだけで料理にチャレンジ。

サンドイッチと、初めてのミックスジュースに舌つづみ。



●みんなの料理教室： 13日(日)

餃子・玉子スープを調理。餃子の包み方を教わり、普段、料理をあまりされない男性が悪戦苦闘して出来あがり。楽しく有意義な時間が過ごせました。

皆さん、はばたきまつりの会場設営、ありがとうございました。



12月おすすめの本



『彼女が知らない隣人たち』

著:あさのあつこ 刊:角川書店

遠い出来事と思っていた差別などの社会問題は実は連なっていて、その渦中に自分が置かれていると体感するストーリー。

生活に追われながら社会にどう向き合うか。性別役割、非正規雇用など立場の弱い人が押し付けられる身近な不公平。当たり前とされる状況のおかしさに気づき始めた主人公。突然起きた連続爆発事件をきっかけに、それまで目を向けてさえないなかった現実や自分自身と向き合うようになっていく。もしかしたら、世界を変えていくのに必要なのは、こんなふうに、一人ひとりがその意識を変えていくことなのかもしれない。「自分は相手のことを知らない」という前提をまず認識して、相手の話を聞き、自分の言葉も伝える」こと。違和感に蓋をせず、仲間と一緒に立ち向かう人々の姿。私たちは信じてなくてはいけないし、信じることを諦めてはいけない。そして、その信じた先には、必ず道がひらけることも…。

『きみはどう考える?』

人権ってなんだろう(全3巻) 喜多 明人/監修 刊:汐文社

1巻・自分の好きな服が着たい! 大切にしたい、自分の気持ち

2巻・友だちと意見が合わないときよくないの?

考えてみよう、まわりの気持ち。

3巻・性別や国籍で差別しない、されない、みとめよう、それぞれの違い。

さまざまな人と出会い、ともに生きていくために、自分の権利を守り、他の人の権利を守るにはどうしたらいいか?何を知っておくべきか?一人ひとりが「自分らしく、幸せに生きる」ためのさまざまな権利をわかりやすく紹介しています。この本を読んで身近な人権について、また、広く世界の人権問題にも目を向けて考えてみましょう。



「時間の猶予はない!」—北朝鮮による拉致問題—

横田めぐみさんが1977年11月(当時13歳)に失踪。以後、北朝鮮に拉致されたことが分かりました。鳥取県米子市出身の松本京子さん(当時29歳)も1977年10月に失踪。

●日本政府の考え方

1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17人が政府によって拉致被害者として認定されています。平成14(2002)年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め、謝罪し、再発の防止を約束しました。同年10月に5人の被害者が帰国しましたが、他の被害者については、平成16(2004)年5月の日朝首脳会議において、北朝鮮より、直ちに真相究明のための徹底した調査を再開する旨の明言があったにもかかわらず、いまだに北朝鮮からは納得のいく説明はありません。拉致問題に関する北朝鮮側の主張には多くの問題点があることから、日本政府としては、北朝鮮側の主張を受け入れることはできません。我が国の国家主権及び国民の生命と安全にかかわる重大な問題として、解決のため、政府の総力を挙げ最大限の努力を尽くします。(外務省 HP より)

●松本京子さん：米子市出身、平成18(2006)年11月に拉致被害者として認定。

1977年10月21日午後8時頃拉致。45年が経過。現在は74歳に。

17人の拉致被害者が認定されているが、それ以外にも、特定失踪者を含め、拉致の可能性を排除できない事実があります。福井、新潟、鹿児島、富山の各県の海岸付近から失踪し拉致された可能性のある人々、欧米、アジア圏での滞在時における日本人拉致容疑事案等もあるのです。

国連の人権理事会へも提出され、14年連続で14回採択。国連総会でも16年連続16回採択されています。拉致問題を含む北朝鮮人権状況決議は、安全保障理事会でも早期解決を求めてきています。しかし、世界の情勢は、ロシアのウクライナ侵攻、最近では北朝鮮のミサイル開発と発射、核実験が行われるのではないかと不安の中、拉致問題の進展が望めないような、厳しく深刻な状況になっています。残された家族にとっては、時間が無くなってきています。2021年現在、1500万筆を超える署名が総理へ提出されています。拉致被害者家族会への応援・支援と国民全体でこの人権問題をあきらめることなく声を上げ続けていきましょう。

鳥取県からのお知らせ

鳥取県は、拉致問題を知らない子どもたちが多く存在する中で、鳥取県で起こった拉致容疑事案を知っていただき、拉致問題への関心を高めるため、マンガを用いた県内版拉致問題啓発小冊子を作成しています。

